

## Neuroscience 2019での海外論文発表



目で見る  
海外論文発表

田沼将人\*

Oral presentation at Neuroscience 2019

Key Words : Surface Enhanced Raman Scattering, Imaging

<参加会議名> Neuroscience 2019

<開催場所> Chicago, Illinois, USA

<渡航期間> 2019/10/18 ~ 2019/10/24

<発表タイトル>

*In vivo* imaging of alkynylated S-citalopram using surfaceenhanced Raman scattering

私は、2019年10月19日～2019年10月23日にかけてアメリカ合衆国オハイオ州シカゴで開催されたSociety for Neuroscience主催のNeuroscience 2019に参加し、ポスター発表を行いました。本学会は神経科学に関する世界最大規模の国際会議で、今回は27,000名以上の参加者が集まりました。

私のポスター発表は最終日の最後のセッションであったにもかかわらず、多くの研究者と活発的な議論を行うことができました。同じ技術を用いている研究者とは、系の問題点とそれに対する解決策の意見交換ができ、非常に意義のあるものになりました。また、研究バックグラウンドの異なる研究者と話す機会もあり、考えもしなかった異分野への技術応用というアイデアをいただくこともできました。学会期間中には、著名な研究者の講演を聴き、最新のトレンドや技術の動向を入手することができました。総じて同世代の学生が非常に意欲的であり、改めてトップレベルの研究を目指したいと感じました。

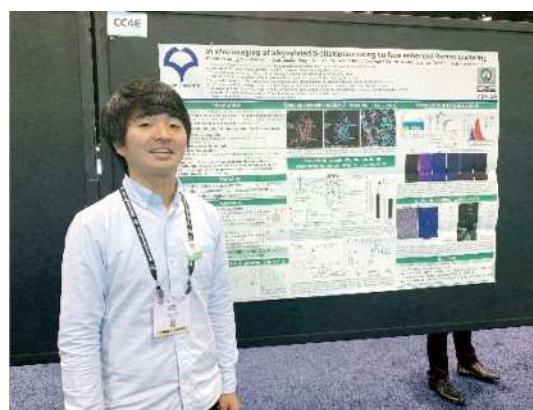
最後になりましたが、本論文発表にあたり、ご支援を賜りました生産技術振興協会に厚く御礼申し上げます。



会場入り口付近の  
垂れ幕



ポスター会場



発表の様子



\* Masato TANUMA

1995年3月生まれ  
大阪大学大学院 薬学研究科 医療薬学  
専攻 神経薬理学分野  
博士後期課程1年 学士(薬学)  
薬剤師  
TEL : 06-6879-8182  
FAX : 06-6879-8183  
E-mail : tanuma-m@phs.osaka-u.ac.jp



会場より徒歩3分のミシガン湖から見たシカゴ市内